

笹塚十号のいえについて

昨年行われたクラウドファンディングでは無事に目標額を達成した「笹塚十号のいえ」について、代表の戸所さんにお話を伺いました！

困ったときに「どうしたらいい？」と言える、話を聞いてくれる人、手を貸してくれる人がたくさんいるうちに！

「笹塚十号のいえ」は誰でもいつでもふらっと立ち寄れる常設の居場所です。『屋根のある商店街の公園』のような、『まちの大きな縁側』のような、楽しいことや困ったことを思わずこぼしてしまうような場所にしていきたいと思っています。

おしゃべりテラスに参加されている皆さまからたくさんの応援をいただき、2月15日にオープンいたしました。皆さま、ぜひお気軽にお立ち寄りください。



笹塚十号のいえ 代表
戸所さん

笹塚地区おすすめスポット

私事ながら、自転車で外出していると、自転車が止められるトイレが必要になります。そこで今回は笹塚のトイレたちをご紹介します。米アカデミー賞ノミネート映画「PERFECT DAYS」にも出演したトイレがありますよ。

七号通り公園のトイレ



笹塚駅前のトイレ



幡ヶ谷第三公園そばのトイレ



水道道路を疾走！
最近新しいお店の
出現が楽しい



北部地区担当
SCの三宅です。
私のおすすめ
スポットを
紹介します！
好きな物：ビール



渋谷区社会福祉協議会では、SNSでも情報発信しています



▲Facebook



▲X



▲Instagram



話し合いの場にご参加希望の方は、下記お問合せ先までご連絡ください



お問合せ・連絡先

(社福)渋谷区社会福祉協議会 地域福祉課地域総合相談支援係 生活支援コーディネーター
〒150-8010 渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所2階
電話：03-6452-5072 FAX：03-3476-4904
メール：s-soudan-shibuya-shakyo@tokyo.email.ne.jp



令和5年度 生活支援体制整備事業

サポートイーター Support each other 通信

R6年3月発行
渋谷区
社会福祉協議会
第4号

生活支援体制整備事業とは、地域住民が互いを気にかける、支え・支えられる関係性を築き、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する事業です。

令和4年度に、区内11地区で「地域の話し合いの場（協議体）」が立ち上がり、各地区で話し合いが進んでいます。

サポイチ通信第4号では、区内で最初に話し合いの場が立ち上がった笹塚地区をピックアップして、話し合いの様子をお伝えします。

※この事業は渋谷区から委託を受け社会福祉協議会が運営しています

Support each otherとは？

英語で「互いに支え合う」という意味です。「互いに支え合う」地域づくりを目指しています。



おしゃべりテラスの歴史

【令和3年】

- 6月：生活支援体制整備事業の勉強会実施
- 10月：おためし話し合い開始
地域情報の共有をメインに月1ペース

【令和4年】

- 4月：「おしゃべりテラス」本開始
住民6名が参加
毎月第3火曜日13:30～と日時決定
- 6月：障がいのある人、その家族が気軽に集まり、話し合える場所がほしいという話

- 9月：障がいのある人と家族の居場所
おためしオープン

- 10月：障がいのある人と家族の居場所名称決定
「ささはたニコニコひろば」
第3土曜
15:00～17:00



- 11月：渋谷福祉学会にて「おしゃべりテラス」の取り組み報告

- 12月：地域情報の共有の中から、「常設の居場所がほしい」
⇒場所探しの話

【令和5年】

- 2月：区営住宅の共有スペースをメンバー皆で見学
- 5月：笹塚包括の土曜日の活用
第2土曜も何かできないかという話
- 7月：オレンジ&フレイルカフェ「オー！フレイルカフェ」がプレオープン
以来、第2土曜13:00～15:00で定着
- 11月：地域の話し合いの場交流会で各地区発表

【令和6年】

- 1月：「地域でつながりをつくるには？」
「続けているうちに自然と何かやりたい人が集まってくる」「グループがつながるのではなく、あくまでも人同士がつながっていく」「よい取り組みの真似も必要」「福祉は住民から。その活動が制度を動かす」という話がでる。

- 2月：おしゃべりテラスのメンバー戸所さんが、常設の居場所「笹塚十号のいえ」開設。

おしゃべりテラスはお試し期間も合わせると3月で29回目の実施となります。今日も皆で「継続を力に」して話し合いを続けています。



おしゃべりテラス



尾崎さん(もみの樹・渋谷本町)

達さん

参加者お二人に
お話をお伺い
しました！

—参加したきっかけを教えてください

尾崎：元々は本町地区の地域の話し合いの場が始まるという時にどんなことが始まるのかなと思って見に行ったのが始まり。本町の方に参加していくにつれて、笹塚でやっているよ、もう始まっていて進んでいるというお話をされたので、ちょっとそこを見てみたいと思った。参加してみたらすごく面白い情報が行き交う場所なんだなと思った。自分の温度感とかやりたいことにすごく似ている所だったので、「ここはいいな」とずっと参加するようになったイメージ。

達：西原地区の話し合いの場立ち上げの際に声をかけてもらった。西原でやっているということは私の住んでいる幡ヶ谷でもやっているはず。今まではやすらぎサービス★で家事援助に入っていたのと被ってしまっていて、でも3月でやすらぎサービスは卒業したため、4月からだったらと思って、今年の4月から参加している。

尾崎：話し合いの場っていろいろな色があって、実は西原の方も参加させてもらっている。お年寄りや障がい者の事にもともと興味があった。

—合っている所、好きな所に参加できるのもこの会の魅力ですね。

尾崎：特に笹塚は間口が広い。誰でもどうぞという感じ。続けたければ続けたいし、続けなくなかったらそれはそれで構わない。1人ひとりへの負担感があまりない感じがとてもありがたい。そういう印象。

達：私は笹塚しか分からないけれど、居心地がいい。主婦、素人として参加している。やすらぎの協力会員としてはやっていたけど、本当にプロフェッショナルな方が多くてびっくりした。こんなプロフェッショナルな方と町の事について話せる。参加させてもらえてありがたい。

尾崎：プライベートでも相談に乗ってもらっている。「こういうことを考えているんだけど、どう思いますか」とアドバイスを頂いたりとか。この場を外れても、いろいろなことを聞けるような関係になっていてありがたい。

